

福井県後期高齢者医療広域連合告示第14号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、平成28年4月1日から平成28年9月30日までの財政状況及び平成27年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

平成28年12月20日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 平成28年度一般会計（平成28年9月30日現在）

【歳入】 (単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	463,946,000	231,988,000	50.0
2 国庫支出金	193,000	0	0.0
4 繰越金	1,000	14,912,128	1491212.8
5 諸収入	57,000	0	0.0
合計	464,197,000	246,900,128	53.2

【歳出】 (単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,526,000	49,848	3.3
2 総務費	160,516,000	72,608,922	45.2
3 民生費	300,154,000	0	0.0
4 諸支出金	1,000	0	0.0
5 予備費	2,000,000	0	0.0
合計	464,197,000	72,658,770	15.7

(2) 平成28年度後期高齢者医療特別会計（平成28年9月30日現在）

【歳入】

(単位:円、%)

歳入区分 (款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	16,143,351,000	6,393,819,671	39.6
2 国庫支出金	33,953,784,000	20,181,981,000	59.4
3 県支出金	8,371,556,000	5,266,666,000	62.9
4 支払基金交付金	40,615,904,000	17,656,494,000	43.5
5 特別高額医療費共同事業交付金	20,402,000	0	0.0
6 財産収入	2,019,000	115,223	5.7
8 繰入金	1,209,751,000	0	0.0
9 繰越金	1,000	2,399,925,187	239992518.7
11 諸収入	5,000	107,123,640	2142472.8
合計	100,316,773,000	52,006,124,721	51.8

【歳出】

(単位:円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	356,704,000	126,240,011	35.4
2 保険給付費	99,610,379,000	40,987,837,597	41.1
3 県財政安定化基金拠出金	39,863,000	39,862,432	100.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	31,158,000	0	0.0
5 保健事業費	244,942,000	0	0.0
6 基金積立金	2,019,000	115,223	5.7
7 公債費	1,000	0	0.0
8 諸支出金	11,707,000	10,099,356	86.3
9 予備費	20,000,000	0	0.0
合計	100,316,773,000	41,164,154,619	41.0

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 平成28年9月30日現在所有なし
- ②基金 平成28年9月30日現在高  
療養給付費等準備基金 2,713,408,671円

(2) 地方債 平成28年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 平成28年9月30日現在借入なし

### 3 平成27年度の決算の概況

#### (1) 一般会計決算の概要

##### ①決算規模及び収支の状況

平成27年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較 (単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	456,420,962	456,993,099	△572,137	△0.1
歳出	441,508,834	437,844,111	3,664,723	0.8
差引	14,912,128	19,148,988	△4,236,860	△22.1

(第1表の2) 予算現額との比較 (単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	456,312,000	456,420,962	△108,962	100.0
歳出	456,312,000	441,508,834	14,803,166	96.8

平成27年度の決算額は、歳入4億5,642万962円、歳出4億4,150万8,834円で、歳入歳出差引額は1,491万2,128円となった。この差引額は、剰余金として平成28年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.0%と96.8%となった。

##### ②歳入の状況

平成27年度の歳入決算額は、4億5,642万962円で、前年度決算額と比較して57万2,137円、率にして0.1%の減となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億3,691万5,242円、繰越金が1,914万8,988円となっている。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、事務局を運営する費用のため市町に共通経費として負担を求める市町負担金が588万4,500円増額したが前年度繰越金が676万6,405円減額したことによるものである。

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	436,915,242	95.7	431,030,742	5,884,500	1.4
2 国庫支出金	318,000	0.1	0	318,000	0.0
4 繰越金	19,148,988	4.2	25,915,393	△6,766,405	△26.1
5 諸収入	38,732	0.0	46,964	△8,232	△17.5
合 計	456,420,962	100.0	456,993,099	△572,137	△0.1

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	436,915,000	436,915,242	436,915,242	0	242
2 国庫支出金	191,000	318,000	318,000	0	127,000
4 繰越金	19,149,000	19,148,988	19,148,988	0	△12
5 諸収入	57,000	38,732	38,732	0	△18,268
合 計	456,312,000	456,420,962	456,420,962	0	108,962

## ③歳出の状況

平成27年度の歳出決算額は、4億4,150万8,834円で、前年度決算額と比較して366万4,723円、率にして0.8%増加した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が108万1,738円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億5,097万9,811円、特別会計への繰出金である民生費が2億7,029万8,297円、市町への償還金である諸支出金が1,914万8,988円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、市町への償還金が673万8,405円減額したが、総務費が536万6,089円、特別会計への繰出金が464万6,245円それぞれ増額したためである。

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	1,081,738	0.3	690,944	390,794	56.6
2 総務費	150,979,811	34.2	145,613,722	5,366,089	3.7
3 民生費	270,298,297	61.2	265,652,052	4,646,245	1.7
4 諸支出金	19,148,988	4.3	25,887,393	△6,738,405	△26.0
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	441,508,834	100.0	437,844,111	3,664,723	0.8

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,526,000	1,081,738	444,262	70.9
2 総務費	154,195,000	150,979,811	3,215,189	97.9
3 民生費	279,442,000	270,298,297	9,143,703	96.7
4 諸支出金	19,149,000	19,148,988	12	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	456,312,000	441,508,834	14,803,166	96.8

## (2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

### ①決算規模及び収支の状況

平成27年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	103,987,600,168	102,711,126,511	1,276,473,657	1.2
歳出	101,587,674,981	99,754,171,641	1,833,503,340	1.8
差引	2,399,925,187	2,956,954,870	△557,029,683	△18.8

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	101,772,851,000	103,987,600,168	△2,214,749,168	102.2
歳出	101,772,851,000	101,587,674,981	185,176,019	99.8

平成27年度の決算額は、歳入1,039億8,760万168円、歳出1,015億8,767万4,981円で、歳入歳出差引額は23億9,992万5,187円となった。この差引額は、剰余金として平成28年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ102.2%と99.8%となった。

### ②歳入の状況

平成27年度の歳入決算の総額は、1,039億8,760万168円で、前年度決算額と比較して12億7,647万3,657円、率にして1.2%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が158億4,880万2,709円、国庫支出金が354億9,290万201円、県支出金が82億7,026万1,641円、支払基金交付金が407億8,242万9,000円、繰入金が4億4,616万4,779円、繰越金が29億5,695万4,870円となっている。諸収入における収入未済額は134万9,376円で、雑入（医療費差額返納金）において発生している。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、国・県・市町からの療養給付費負担金、及び支払基金からの交付金が増加したことによるものである。

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	15,848,802,709	15.2	15,585,381,669	263,421,040	1.7
2 国庫支出金	35,492,900,201	34.1	34,985,334,481	507,565,720	1.5
3 県支出金	8,270,261,641	8.0	7,993,331,993	276,929,648	3.5
4 支払基金交付金	40,782,429,000	39.2	39,786,493,000	995,936,000	2.5
5 特別高額医療費 共同事業交付金	22,096,052	0.0	18,935,573	3,160,479	16.7
6 財産収入	2,266,700	0.0	2,278,384	△11,684	△0.5
8 繰入金	446,164,779	0.5	984,659,100	△538,494,321	△54.7
9 繰越金	2,956,954,870	2.8	3,077,059,959	△120,105,089	△3.9
1 1 諸収入	165,724,216	0.2	277,652,352	△111,928,136	△40.3
合 計	103,987,600,168	100.0	102,711,126,511	1,276,473,657	1.2

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	15,877,149,000	15,848,802,709	15,848,802,709	0	△28,346,291
2 国庫支出金	33,252,804,000	35,492,900,201	35,492,900,201	0	2,240,096,201
3 県支出金	8,214,771,000	8,270,261,641	8,270,261,641	0	55,490,641
4 支払基金交付金	40,217,259,000	40,782,429,000	40,782,429,000	0	565,170,000
5 特別高額医療費 共同事業交付金	18,935,000	22,096,052	22,096,052	0	3,161,052
6 財産収入	2,303,000	2,266,700	2,266,700	0	△36,300
8 繰入金	1,232,670,000	446,164,779	446,164,779	0	△786,505,221
9 繰越金	2,956,955,000	2,956,954,870	2,956,954,870	0	△130
1 1 諸収入	5,000	167,073,592	165,724,216	1,349,376	165,719,216
合 計	101,772,851,000	103,988,949,544	103,987,600,168	1,349,376	2,214,749,168

## ③歳出の状況

平成27年度の歳出決算の総額は、1,015億8,767万4,981円で、前年度決算額と比較して18億3,350万3,340円、率にして1.8%の増となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億1,839万1,742円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が979億9,704万1,117円、県財政安定化基金への広域連合負担分（負担割合3分の1）である拠出金が4,383万5,077円、市町が実施する健康診査事業への補助金である保健事業

費が1億7,358万8,400円、保険料剰余金を積み立てる療養給付費等準備基金への積立金が1億5,711万2,563円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が28億7,112万947円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、療養給付費等の保険給付費の増加によるものである。また、基金積立金が前年度決算額と比較して減少している理由は、臨時特例基金の解散によるものである。

保健事業費の執行率が低かった原因は、健康診断の受診者が当初の見込みより少なかったためである。

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	318,391,742	0.3	309,336,652	9,055,090	2.9
2 保険給付費	97,997,041,117	96.5	95,480,690,445	2,516,350,672	2.6
3 県財政安定化 基金拠出金	43,835,077	0.0	43,835,077	0	0.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	26,585,135	0.0	22,232,354	4,352,781	19.6
5 保健事業費	173,588,400	0.2	166,043,640	7,544,760	4.5
6 基金積立金	157,112,563	0.2	736,789,036	△579,676,473	△78.7
7 公債費	0	0.0	0	0	0.0
8 諸支出金	2,871,120,947	2.8	2,995,244,437	△124,123,490	△4.1
9 予備費	0	0.0	0	0	0.0
合 計	101,587,674,981	100.0	99,754,171,641	1,833,503,340	1.8

## (第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	330,042,000	318,391,742	11,650,258	96.5
2 保険給付費	98,102,041,000	97,997,041,117	104,999,883	99.9
3 県財政安定化 基金拠出金	43,836,000	43,835,077	923	100.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	28,889,000	26,585,135	2,303,865	92.0
5 保健事業費	215,896,000	173,588,400	42,307,600	80.4
6 基金積立金	157,149,000	157,112,563	36,437	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0
8 諸支出金	2,874,997,000	2,871,120,947	3,876,053	99.9
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0
合 計	101,772,851,000	101,587,674,981	185,176,019	99.8